

世田谷区立砧小学校・砧幼稚園改築基本構想について

1 主旨

世田谷区立砧小学校・砧幼稚園は、児童数増への対応とともに、敷地北東側の道路拡幅による通学路や敷地内崖地の安全確保、また、認定こども園に用途転換する砧幼稚園との複合化を図るものとして、平成 27 年度に次期改築校に選定した。

その後、既存擁壁の調査、および整備手法等の検討を踏まえて平成 30 年度に改築整備方針を策定し、世田谷区立砧小学校・砧幼稚園改築基本構想検討委員会にて検討を進めてきた。このたび、改築基本構想がまとまったので、報告する。

2 基本構想の概要

(1) 基本方針

複合化を活かした多様な教育や子育ての拠点となる施設

子どもたちの健康・体力の向上に寄与する施設

地域とともに歩む開かれた施設

自然とのふれあいを大切にする地球にやさしい施設

児童と地域を守る安全安心な施設

(2) 計画の概要

敷地概要

所在地 世田谷区喜多見六丁目 9 番 1 号、11 号

敷地面積 14,993.94 m²

建物概要

構造・階数 鉄筋コンクリート造、地下 2 階・地上 4 階建

延床面積 約 10,200 m²

建物(棟)		既存	小計	整備後
砧小学校	校舎棟その他	5,272 m ²	5,869 m ²	約 8,760 m ²
	体育館棟	597 m ²		
砧幼稚園		731 m ²	731 m ²	約 1,440 m ²
延床面積合計			6,600 m ²	約 10,200 m ²

主要室構成

学校施設 普通教室(20)、ワークスペース(3)、特別支援教室等(6)、特別教室(理科室、家庭科室、音楽室、図書室等)、給食諸室、管理諸室、等

認定こども園施設

保育室(6)、遊戯室、給食諸室、管理諸室、等

地域連携施設 防災倉庫等

(3) 計画の特色

ア 配置計画・動線計画

校舎棟は、現在の校舎と同じ北側と西側に配置するとともに、せたがや百景に指定された「百年桜」を保存する。また、松の一部保存や、建物ボリュームの分節等、国分寺崖線の景観に配慮した計画とする。

通学動線は、どの方向からも安全で通りやすい計画とする。

認定こども園は、地形の高低差を活かしながら、現在の園舎と同じ南側に配置する。また、小学校と認定こども園の交流や連携が図れる動線を確保する。

ユニバーサルデザインに配慮し、給食配膳用を兼ねたエレベータを適切に設置する。

イ 普通教室ゾーン

普通教室は、2階と3階にまとまりをもって配置し、各階にワークスペースを設け、多様な学習形態に対応が可能な計画とする。また、多目的室は、将来の児童の増加への対応にも配慮して2階に配置する。

特別支援学級・すまいるルームは、他校からの通級や見守り、保健室や避難経路等との接続に配慮し、1階に集約した配置とする。

ウ 管理ゾーン

管理諸室は、校庭の視認性など、管理運営に配慮し1階（校庭レベル）に集約した配置とする。

保健室は、外部からの出入り等に配慮し、校庭に面した配置とする。

主事室・事務室は、保安や管理に配慮し、昇降口に近接した配置とする。

エ 特別教室ゾーン他（地域利用等）

特別教室は、教室間の移動のし易さや多目的室との連携を考慮するとともに、図書室や音楽室、会議室等を地域利用等に配慮した配置とする。

体育館と防災倉庫は、避難所運営や物資の搬入に配慮し、1階の昇降口に近接した配置とする。

オ 認定こども園 保育室ゾーン

保育室は、日照や通風が確保された良好な環境とするため、園庭に面した配置とする。

預り保育室は、運営管理に配慮し園舎出入口に近接した配置とする。

カ 認定こども園 管理ゾーン

職員室は、セキュリティに配慮し、園舎出入口に近接した配置とする。

(4) 発注手法

敷地周辺は急傾斜地であり、敷地の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されている。改築にあたっては、建築工事のほか擁壁を更新するための難易度の高い土木工事も必要であり、工期が長期に及ぶことが想定され、学校運営、教育環境、周辺の住環境等に大きな影響が生じる。

そのため、建築工事と土木工事を連携させて工事をより安全に行い、また、工期の短縮やコスト削減の効果が見込まれる等、本計画において効率的かつ効果的な手法である、設計段階から建築と土木の施工技術を導入する設計施工一括発注方式（デザインビルド方式）を採用する。

3 概算経費

(1) 概算工事費

約62.1億円

内訳

設計費	:	約3.5億円
改築工事費	;	約43.6億円
既存校舎改修工事費	:	約0.9億円
解体工事費	:	約3.3億円
仮設校舎・園舎経費	:	約2.8億円
外構工事費	:	約2.0億円
擁壁改修他工事費	:	約6.0億円

既存校舎改修工事費には、仮園舎として一時活用する改修工事費を含む。

擁壁改修他工事費には、仮設構台設置費等を含む。

(2) 概算年間施設維持運営費

約4千万円

4 今後のスケジュール(予定)

令和2年	3月	改築基本構想説明会
令和2年度		デザインビルド事業者選定プロポーザル実施
令和3年度		基本設計
令和4年度		実施設計
		既存校舎改修工事、幼稚園・プール解体工事
令和5年度以降		擁壁工事、仮設工事、解体工事、改築工事、校庭整備等
		(概ね7~8年)